

(中国丙10)
その他感染性下痢症
発生推移
= 2024年3月度 =

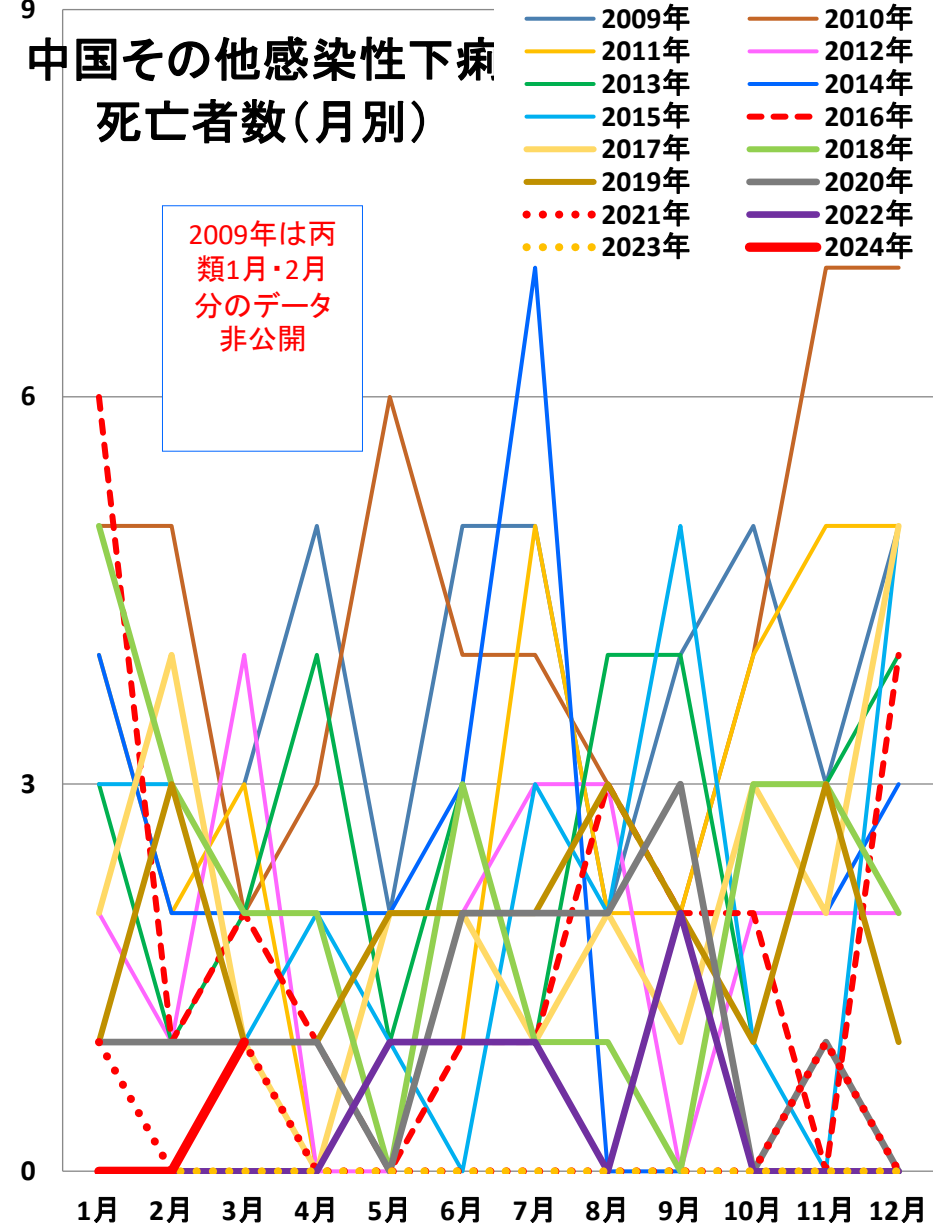
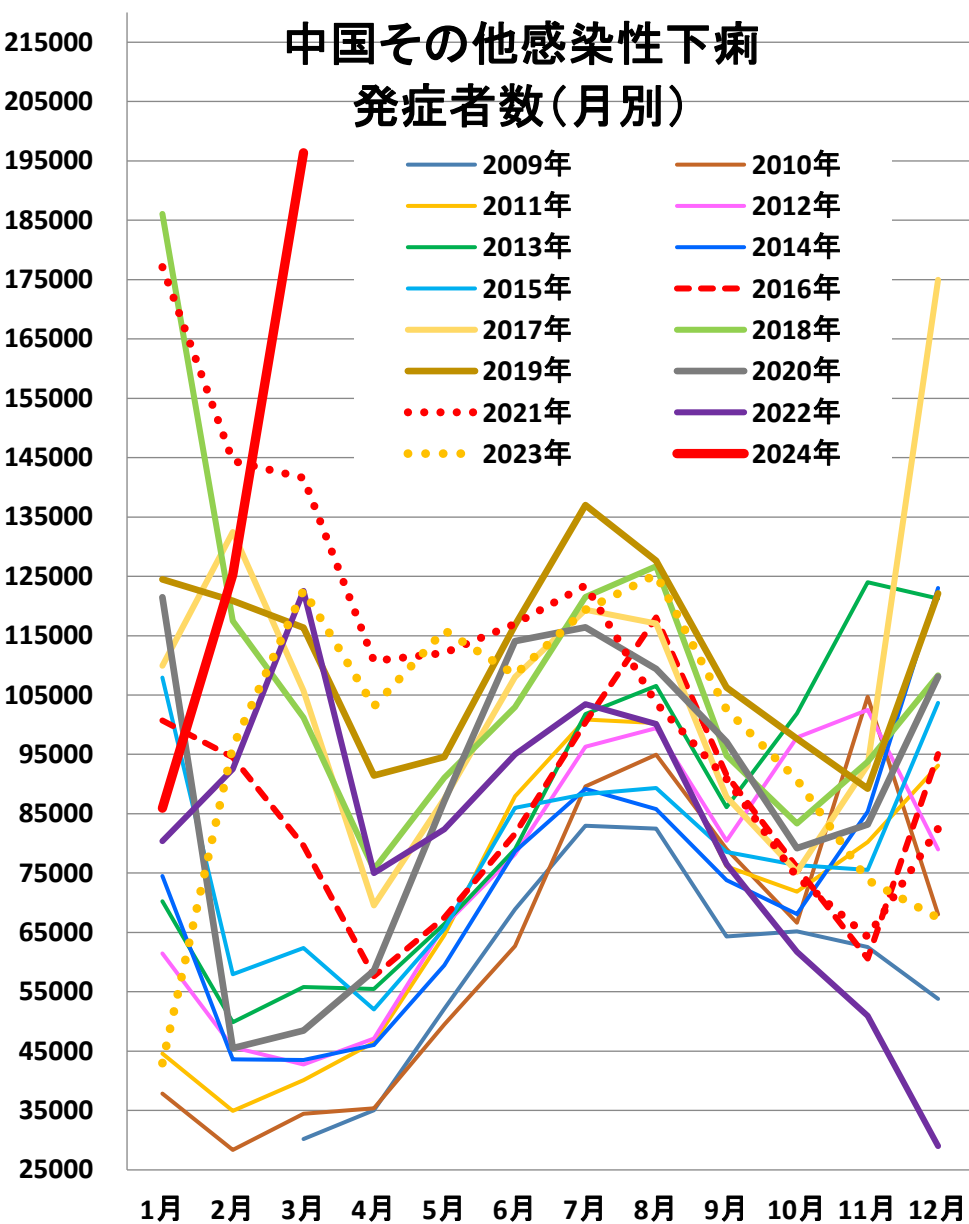
発表: 2024年04月22日 国家NDPCA

作成: 2024年04月26日
日中医療衛生情報研究所

その他感染性下痢

- 中国におけるその他感染性下痢症の特徴:
- 毎月数万人の患者がでている。
- 月別の特徴:
夏場と冬場にピークが見られる(二峰性)
- 更に、年度別発症者数を見る限り、
2014、2022年は一旦減少したものの年々増加の傾向にあるともいえる。
 - 1) 2015年は、937,616人、
 - 2) 2016年は1,018,605人、
 - 3) 2017年は1,284,644人、
 - 4) 2018年は1,282,270人、
 - 5) 2019年は1,335,627人、
 - 6) 2020年は1,062,277人、
 - 7) 2021年は1,329,790人、
 - 8) 2022年は 969,611人(速報ベース)と急減
 - 9) 2023年は1,168,581人(速報ベース)と逆戻り増加

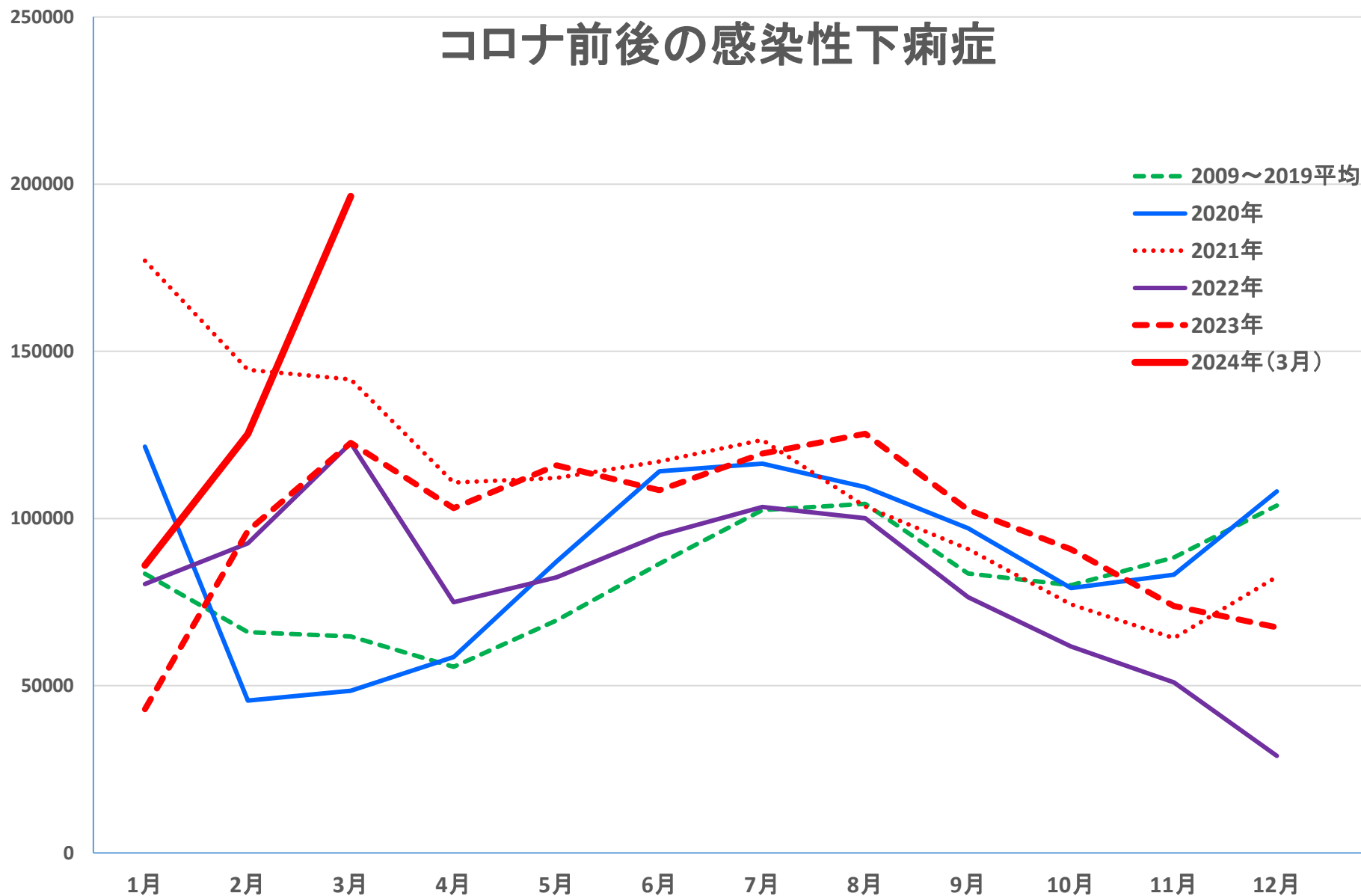
丙10：その他感染性下痢症



2009年は丙類1月・2月分のデータ非公開

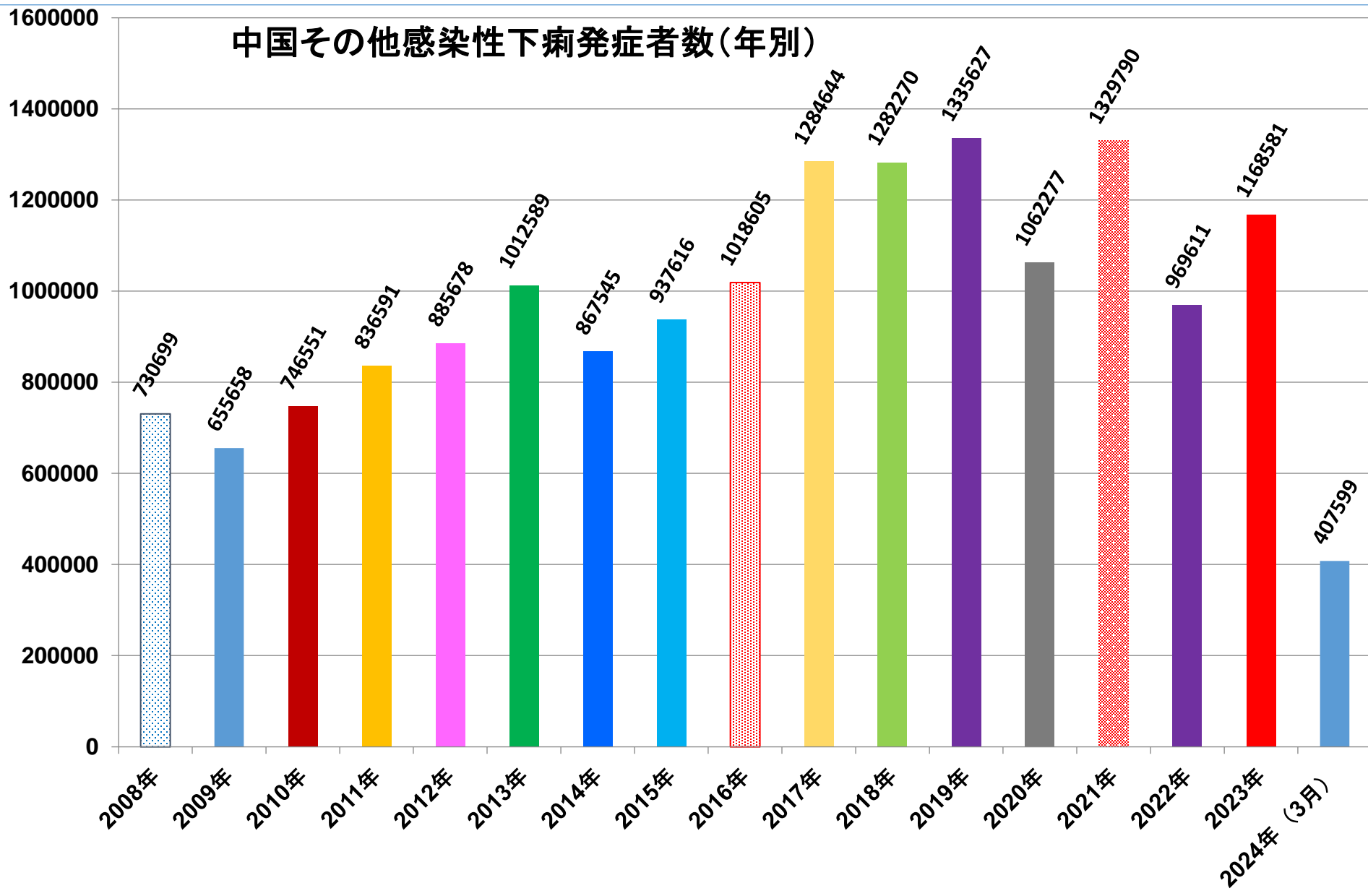
感染性下痢症：コロナ前後比較

コロナ前後の感染性下痢症



丙10：その他感染性下痢症

中国その他感染性下痢発症者数(年別)



丙10：その他感染性下痢症

中国その他感染性下痢死亡者数(年別)

